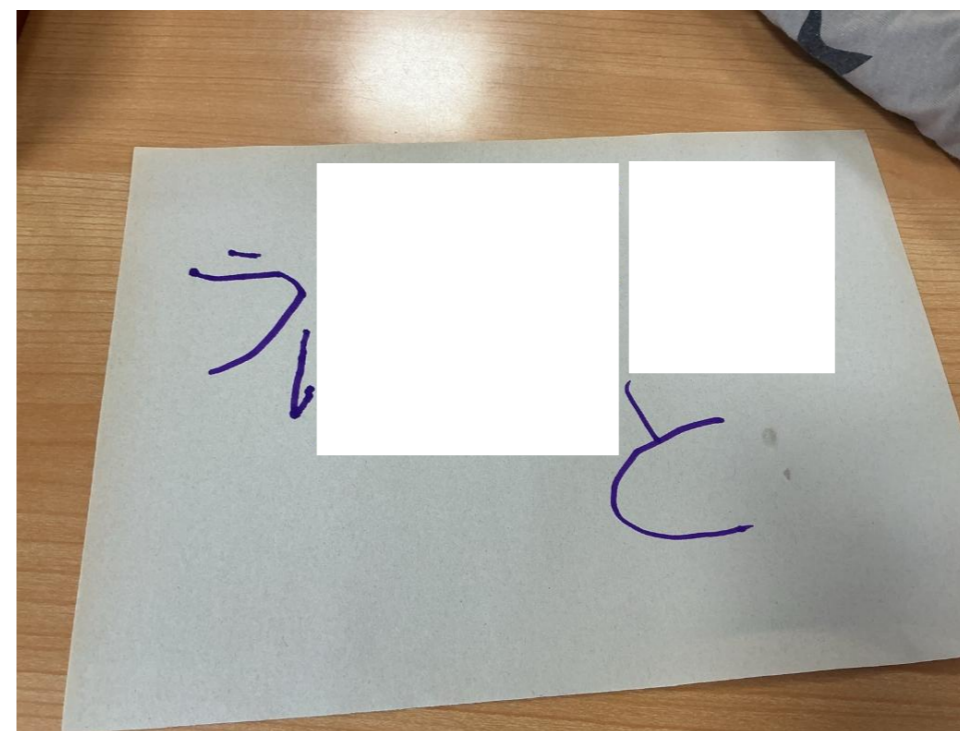


【文字への関心と友だちを思う気持ち】

「先生、文字が書きたい」と言う子。
そこでひらがな表を渡してみました。
自分の名前を書くのかな？とみていたら
「な、はどこだ？」と探し始めました。
「次はり、り、り、あった！」
大好きな友だちを思いながらその子の名前を
書く姿がありました。



この時実際に書いたもの
一文字、一文字
丁寧に書いていました

普段から子どもたちの「やってみたい」「書いてみたい」という興味や関心を丁寧に受け止めること、必要なものを準備すること、保育者が子どもの行動を先読みして必要以上に声をかけすぎないこと。

そんなことを大事にしながら保育することを心がけています。

大好きな友だちの名前が書きたい気持ち、ひらがな表を見て「これが、な、だ！」と発見する嬉しさ、「全部書けた！」という喜び。それを見て学んでいる3歳児のまなざし。

この数分の出来事でも子どもたちが感じていること、学んでいることはたくさんあります。

2026年4月